

令和5年度 9月学位授与式

理事長・学長の早川です。一言、お祝いのご挨拶を申し上げます。

今年は「地球が沸騰する」などと比喻されるように、これまでの統計をはるかに上回る記録的な暑さが続いています。朝夕にはやっと、すがすがしい秋の気配を感じられるようになりました。

本日、学位記を受けられた学部卒業生の皆さん、誠におめでとうございます。山梨県立大学を代表して、心からお祝い申し上げます。また、皆様をこれまで支えてこられた、ご家族・ご関係の皆様、さらに指導にあられた教職員の方々にも、心よりお慶びを申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、3年数か月にも及ぶ長い歳月を経て、法律上の5類への移行など、平常時に近い体制に移行しつつあります。ただ、ウイルスの病原性は弱まってきているとはいえ、新たな変異株の出現、さらには季節性インフルエンザやRSウイルスとの同時流行の兆しがみられるなど、まだまだ気が許せない状況が続いていることは否めません。

大学生生活初年度から、突如として思いもよらない感染症パンデミックに見舞われた皆さんには、大きな困惑と戸惑い、そして通常では経験しないような大変な苦労があり、それは今も続いていることと思います。こうした逆境を乗り越えて、各教育課程の卒業認定を取得され、晴れの日を迎えた皆さんに、心より賛辞をおくりたいと思います。コロナ禍という未曾有の災禍に対峙し、学生生活において、それを乗り切ったことは、大きな自信となることでしょう。困難を乗り越えた先には必ずや、輝かしい未来が開けるものと確信しております。

一方で、この喜びは、ご家族をはじめ、友人、先輩、さらには指導教職員など周りの人々の理解と支えがあって成就したことを忘れてはいけません。

これから皆さんは、社会人として様々な世界へ羽ばたいていくこととなります。しかし今、その世界は大きな転換期に直面しています。むしろ、変化し続ける時代に突入したといっても過言ではないかもしれません。資本や労働力のグローバル化は、産業構造の急激な変化を招き、気がつけばこれまでの資本集約型の社会から、IoTやAI技術に基づくSociety 5.0(知識集約型社会)に突入しています。

世界の産業はデジタル化やサービス化が急激に進み、今や経済価値の中心は、自動車や電機製品に代表される「モノ」から、情報やサービスさらにはSDGsへの貢献度等へと大きくシフトしています。皆さんはアテンションエコノミー(関心経済)という言葉をご存じでしょうか。情報が錯乱する高度情報化社会においては、情報の量や

優劣よりも、「人々の関心や注目の獲得」が、貨幣のように経済的価値を持つ、という概念を言います。現在はその獲得争奪戦が起きているともいわれています。

一方で、人間の社会活動に基づく温室効果ガスの過剰な発生や自然破壊は、経験のない猛暑や豪雨といった異常気象、さらには新型コロナウイルスに代表される新規感染症を誘発しています。

このように IT の進歩とともに激変を続ける社会、さらには不透明さが増していく地球環境を生きぬくためには、多面的な視野と先見性をもって、取り組むべき問題を的確にとらえ、それを解決していく根源的な力が求められます。最新の IT や AI 技術を習得し、それをツールとして仕事や生活に積極的に利用していくことも必要になります。ただし、そこで重要なことは、IT や AI 技術を駆使して得られた結果を、そのまま応用するのではなく、自らの感性と理性を最大限働かせるとともに、それまで培ってきた深い教養をもってデータを解析して判断し、自ら出した答えを実践していくことにあると思います。実践する前に、仮説をたて、それを実証していくプロセスが必要な場合もあるかもしれません。さらには地球環境保全に配慮した取り組みとなることも必須です。自らが導いた答えをどう実践していくのか、その答えの先々に何を生み出せるのかが社会では問われ、注目され、評価されます。

ご承知のように、本学の理念の一つは「未来の実践的担い手」を育てることにあります。皆さんには本学における学びと研究生活の中で、高い専門性と課題解決に向けた実践力がついているはずで、それらを存分に発揮していただきたいと思えます。

もちろん、日々複雑化する社会環境の中で、新たに生ずる問題や課題を的確に抽出し、革新的な手法をもって解決するためには、より豊かな感受性と優れた直観、そしてそれらを形にできる高い感性と理性を今後も磨いていくことが必要です。そのためには今後も学びと研究の姿勢を崩さないこと、さらに殻に閉じこもらず、積極的に人や自然、文化、芸術などとのふれあいを重ねていくことです。

皆さんには、困難な状況下にあっても未来へ持続する社会を自らデザインするとともに、その創設と発展に向けて人々を牽引していくリーダーとなってほしいと思えます。

最後に、皆さんの前途が輝かしいものとなりますことを心より祈念しまして、お祝いの言葉といたします。ご卒業、誠におめでとうございます。

令和5年9月29日 山梨県立大学 理事長・学長 早川正幸